

本書に以下の誤りがありましたので、訂正致します。

頁	該当項目	誤	正
15	下から7行目から8行目	…日本工業規格(JIS)に定める…	…日本農林規格(JAS)に定める…
44	上から14行目	…会「木構造設計規準」参照。	…会「木質構造設計規準」参照。
45	上から2行目	…、だば間隔が60cm未満…	…、だば間隔が45cm未満…
65	下から3行目	… $F_{1}=0.2$ 、 $F_{2}=5.64$ (N/mm ²)…	… $F_{1}=0.2$ 、 $F_{2}=5.64$ (N/mm ²)…
74	下から6行目	$\gamma = \frac{(\delta_1 - \delta_2)}{l} = (1 - \alpha) \frac{3H}{D}$	$\gamma = \frac{(\delta_1 - \delta_2)}{l} = (1 - \alpha) \frac{3H}{Dl}$
77	上から2行目	$N = M / B = (Qe \cdot l_2 \cdot W \cdot l_1) / B$	$N = M / B = (Qe \cdot l_2 \cdot W \cdot l_1) / B$
77	上から4行目	$N = M / B = (Qw \cdot l_3 + F \cdot l_4 \cdot W \cdot l_1) / B$	$N = M / B = (Qw \cdot l_3 + F \cdot l_4 \cdot W \cdot l_1) / B$
90	設計・構造計算事例の概要の表中設計例4部分	2階床面積 延べ面積 1階耐力壁最大相互距離 1階耐力壁最大区画面積	80m ² 169.62m ² 7m 28m ²
97	⑥だば配置図 腰壁レベルの図	X1通り、Y2通りの交差部分や下近傍部分 だば●抜け	X1通り、Y2通りの交差部分や下近傍部分 だば●有り(同点よりやや上部と同様)
100	(1)構造概要一覧表	1)構造概要の表中 中段部分の項目名 同上	だばの必要本数との配置 だばの必要本数と配置本数
101	2)必要だば本数計算表 表2段目 だばの種類 表5段目 S部分項目名 表6段目 Sw部分項目名 表7段目 Sk部分項目名 表8段目 nw= /Sf部分項目名 表9段目 nk= /Sf部分項目名	桁行方向 通SR235 Sf (注2) (kN) Sw (注3) (kN) Sk (注4) (kN) nw= /Sf (本) nk= /Sf (本)	桁行方向 _SR235 Sf (注2) だばせん断強度 (kN) Sw (注3) 風圧力 (kN) Sk (注4) 地震力 (kN) nw=Sw/Sf 風圧力に必要なだば本数 (本) nk=Sk/Sf 地震力に必要なだば本数 (本)
116	第4章 丸太組構法建築物の設計・計算例 設計例2 1.設計条件 丸太材の寸法	丸太材:11.4×12.0,11.7×11.1, 見付高さ18.4cm	丸太材:(11.4~12.0,11.7)cm×18.4cm
325	(2)地震に対して必要な「だば」本数	多雪区域100mm以下・平屋 多雪区域100mm以下・小屋裏利用2階建 多雪区域200mm以下・平屋 多雪区域200mm以下・小屋裏利用2階建	多雪区域100cm以下・平屋 多雪区域100cm以下・小屋裏利用2階建 多雪区域200cm以下・平屋 多雪区域200cm以下・小屋裏利用2階建